



TITLE:

表紙・はじめに・目次

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・はじめに・目次. 京都大学高等教育叢書 2011, 30

ISSUE DATE:

2011-03-15

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/139331>

RIGHT:

## 京都大学高等教育叢書30

平成22年度 特別経費「大学教員教育研修のための相互研修型FD拠点形成」  
平成22年度 教育関係共同利用拠点「相互研修型FD共同利用拠点」

# FDネットワークの展開と大学教育改革の方向性を問う

平成23年3月

京都大学高等教育研究開発推進センター



Kyoto University's Library of Higher Education Research  
CENTER FOR THE PROMOTION OF EXCELLENCE IN HIGHER EDUCATION

平成22年度採択特別経費・教育関係共同利用拠点報告書

FDネットワークの展開と大学教育改革の方向性を問う

平成23年3月

京都大学  
高等教育  
叢書

京都大学高等教育研究開発推進センター

公開シンポジウム

FD ネットワークの展開と大学教育改革の方向性を問う

## はじめに

2010 年 9 月 7 日（火）、京都大学芝蘭会館にて、公開シンポジウム「FD ネットワークの展開と大学教育改革の方向性を問う」を開催しました。

大学の FD に関わる状況は、ここ数年の間に大きく動いてきています。特に、2007 年度に大学院が、2008 年度に大学をはじめとするその他の高等教育機関において、大学設置基準によって FD が義務化されるということは、大学教育に大きなインパクトを及ぼしました。

しかし、この流れのなかで、大学評価などのために定型的に行われる FD 活動が顕在化するということもあり、2008 年の中教審答申『学士課程教育の構築に向けて』には、「実質的な FD」という表現によって、その実現に向けてさまざまな試みへの期待が盛り込まれました。

その一つが、大学間 FD ネットワークであり、実際に、2009 年 8 月には「教育関係共同利用拠点」に関わる規程が告示されました。それを受けて、2010 年 3 月に第一次、6 月に第二次の FD に関わる拠点認定が発表され、「教職員の組織的な研修等の実施機関」として 7 大学が動き始めています。その他にも、各地域で FD に関わる大学間ネットワークが形成され、活動が進められています。

しかし、FD ネットワークはまだ動き始めたばかりであり、リソース、内容・方法、参加大学の規模などの点で、それぞれ多様なローカリティをもつなかで、多くの課題を抱えながら手探り状態で取り組んできている段階にあります。

そこで、本シンポジウムでは、高等教育研究の第一人者の先生方をお招きし、FD ネットワークの展開と大学教育改革の方向性についてご意見を伺い、それを踏まえたディスカッションを通して、今後の FD ネットワークのあり方とわが国の大学教育の方向性を探っていくことが企図された次第です。

まず、松本紘京都大学総長による開会挨拶の後、田中毎実京都大学高等教育研究開発推進センター長による基調報告「相互研修型 FD 共同利用拠点の仕事」によって、共同利用拠点の一つのチャレンジが紹介されました。

それを踏まえて、パネル報告として、天野郁夫東京大学名誉教授、館昭桜美林大学大学院アドミニストレーション研究科長、羽田貴史東北大学高等教育開発推進センター長、寺崎昌男立教大学本部調査役、絹川正吉新潟大学理事、小松親次郎文部科学省大臣官房審議官の、6 名の高等教育の牽引者ともいべき方々からご意見をいただきました。

さらに、基調報告者、パネル報告者が壇上に並んで、パネルディスカッション、および、フロアも含めた質疑応答が行われました。

9 月とは言え、記録的な猛暑の続く平日にも関わらず、関西地区内外から合計 135 名の参加者があり、終了後の情報交換会では、多くの参加者が一層の交流を深めつつ、盛会の

うちに終了いたしました。

本報告書の前半は、その公開シンポジウムの全記録です。その場の雰囲気を感じられると共に、多くの問題点が浮き彫りにされ、今後の方向性を改めて考える素材があちらこちらにちりばめられていると思います。編集を担当させていただき、当日のその熱気を再び思い返しなが、何度となく熟読玩味する価値のある内容であったと、登壇された諸先生方に、ここに期して感謝の意を表しておきたいと思います。

その翌日の9月8日（水）には、半日をかけて、FD ネットワーク代表者会議（JFDN）を、同場所芝蘭会館にて開催しました。北は北海道から、南は九州まで、全国17のFD ネットワークの代表の方にお集まりいただき、また、文科省から高橋浩太朗文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室学務係長にもフルにご参加いただき、それぞれの活動の現状と課題について報告し合いました。本報告書の後半部は、その際に、各FD ネットワークから報告いただいた発表資料をそのまま掲載させていただいたものです。

この発表資料集だけでも、なかなか壮観であり、それぞれが、それぞれのネットワークのローカリティ、あるいは、専門性において、さまざまな工夫がなされていることが見て取れます。それらの工夫やチャレンジは、まさに、領域を超えて参考になったり、また、お互いにさらに頑張っていこうというエネルギー交換にもつながるものと思います。

JFDN という相性で呼ばれているこのFD ネットワーク代表者会議も、今後どのように発展させていくか、まだまだ課題山積の段階ですが、こうした情報交流の場を通して、何か新たなものが大学教育にもたらされる可能性も小さくはないだろうと思います。

この報告書を是非ご一読され、日本の各所で、こうしたネットワークに少しでも多くの方にご参画いただき、そうした新しい動きを大学教育のなかに作りだしていただけるといったことがあれば、私ども京都大学高等教育研究開発推進センタースタッフ一同の望外の喜びとするところであります。

この両日、いろいろと至らぬことも多々あったかと思いますが、そうした私どもの意気に免じて、今後ともご支援とご指導をいただくことのできますようお願いして、報告書の緒言としたいと思います。

2011年2月2日

京都大学高等教育研究開発推進センター

大塚雄作

# 目 次

- ・ は し が き 大塚 雄作 (京都大学高等教育研究開発推進センター 教授)

## 第 I 部 公開シンポジウム

### FD ネットワークの展開と大学教育改革の方向性を問う

・ 開 会 挨 拶	松本 紘 (京都大学 総長)	1
・ 趣 旨 説 明	大塚 雄作 (京都大学高等教育研究開発推進センター 教授)	4
・ 基 調 報 告	田中 毎実 (京都大学高等教育研究開発推進センター センター長)	
	相互研修型 FD 共同利用拠点の仕事	7
	基調報告・配付資料	26
・ パネル報告 1	天野 郁夫 (東京大学 名誉教授)	
	高等教育政策の中の FD	33
	パネル報告 1・配付資料	40
・ パネル報告 2	舘 昭 (桜美林大学大学院大学アドミニストレーション研究科 研究科長)	
	FD を日米の異同から考える	43
・ パネル報告 3	羽田 貴史 (東北大学高等教育開発推進センター 大学教育支援センター長)	
	どのような大学教員を育てるのか、そのために何をすべきか	51
	パネル報告 3・配付資料	59
・ パネル報告 4	寺崎 昌男 (立教学院 本部調査役・東京大学 名誉教授)	
	FD を語り直し見直すことを試みる	65
	パネル報告 4・配付資料	72
・ パネル報告 5	絹川 正吉 (新潟大学 理事)	
	相互研修型 FD 共同利用拠点～基調報告への応答～	75
	パネル報告 5・配付資料	80
・ パネル報告 6	小松親次郎 (文部科学省大臣官房 審議官)	
	FD をめぐる議論	85
	パネル報告 6・配付資料	92
	FD 関連参考資料	95
・ パネル・ディスカッション		101

## 第Ⅱ部 FD ネットワーク代表者会議

●第3回 FD ネットワーク代表者会議	121
・資料	126
1. 北海道地区 FD・SD 推進協議会	126
細川敏幸 (北海道大学 高等教育機能開発総合センター 教授)	
2. いわて高等教育コンソーシアム	130
後藤尚人 (岩手大学 人文社会科学部・大学教育総合センター 教授)	
3. 国際連携を活用した大学教育力開発の支援拠点	138
関内 隆 (東北大学 高等教育開発推進センター 副センター長)	
4. 東日本地区大学間 FD ネットワーク・つばさ	148
小田隆治 (山形大学 地域教育文化学部 教授)	
5. 大学コンソーシアム石川	156
青野 透 (金沢大学 大学教育開発・支援センター センター長／教授)	
6. 障害者高等教育拠点	166
飯塚潤一 (筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 障害者支援研究部長)	
7. 看護学教育研究共同利用拠点	176
松田直正 (千葉大学大学院 看護学研究科附属看護実践研究指導センター 特任助教)	
8. 日本高等教育開発協会	
(Japan Association for Educational Development in Higher Education: JAED)	182
川島啓二 (国立教育政策研究所 高等教育研究部 総括研究官)	
9. 福井県学習コミュニティ推進協議会 (F レックス)	188
坪川 武弘 (福井工業高等専門学校 教授)	
10. FD・SD 教育改善支援拠点	200
夏目達也 (名古屋大学 高等教育研究センター 教授)	
11. 大学コンソーシアム京都 (地域内大学連携による FD の包括研究と共通プログラム開発・組織的運用システムの確立)	206
原 清治 (佛教大学 教育学部 教授／全学 GP 推進室 室長)	
12. 医学教育共同利用拠点	216
加藤智美 (岐阜大学 医学部 医学教育開発研究センター 講師)	
13. 全国私立大学 FD 連携フォーラム	228
井上史子 (立命館大学 教育開発推進機構 講師)	
14. 山陰地区 FD 連絡協議会	234
山田剛史 (島根大学 教育開発センター 副センター長／准教授)	
15. 四国地区教職員能力開発ネットワーク (SPOD)／教職員能力開発拠点	242
佐藤浩章 (愛媛大学 教育企画室 准教授)	
16. 九州地域大学教育改善 FD・SD ネットワーク：Q-Links	
田中 岳 (九州大学 教育改革企画支援室 准教授)	252
・【JFDN 後記 2010】第3回 FD ネットワーク代表者会議・後記	
大塚雄作 (京都大学高等教育研究開発推進センター 教授)	262

## 執筆・編集

大塚 雄作（京都大学高等教育研究開発推進センター・教授）

## 編集

及川 恵（京都大学高等教育研究開発推進センター・特定准教授）

石川 裕之（京都大学高等教育研究開発推進センター・特定助教）

本報告書の発刊にあたり、発表のテープ起し原稿・スライド等の掲載を許諾して頂くなど、多くの方々のご協力を賜りました。深く感謝申し上げます。

平成 23 年 3 月 10 日 印刷

非売品

平成 23 年 3 月 15 日 発行

発行

京都大学高等教育研究開発推進センター

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

TEL 075-753-3087 FAX 075-753-3045

印刷

株式会社 北斗プリント社

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2

TEL 075-791-6125（代） FAX 075-791-7290（代）